

2012 年 5 月 17 日

報道関係者 各位

天文教育普及研究会会長 嶺重 慎

天文教育普及研究会：日食関連 Web ページのご案内

天文教育普及研究会※では、全国のみなさんが、5 月 21 日早朝の日食に興味・関心をい
だいて、楽しく安全に観察できるよう、2つのワーキンググループ（WG）をたちあげ、
以下の活動を主導しています。

・日食の安全な観察推進WG（日食観察WG）：

日食観察方法の安全性（危険性）を検証し、日食の安全な観察方法についての情報を
広く一般に提供するために、日食ガラスの透過率の測定などを行い、それらの結果を web
で公開しています。代表は齋藤泉氏（栃木県子ども総合科学館）。

・金環日食調査WG（日食調査WG）：

全国で日食観測がどのように行われ、どのような成果をあげたのかを記録するために
全国規模で調査し、結果を web で公開しています。現在は、日食関連のイベントや観望
会情報をまとめて公開するとともに、学校における日食に向けた取り組み状況の調査を
実施し、その途中集計結果も掲載しています。代表は飯塚礼子氏（日食情報センター）。

本会のホームページ (<http://tenkyo.net/>) では、国立天文台の金環日食ページや、2012
年金環日食日本委員会のウェブページと共通する資料に加えて、これらのWGからの最新
かつ詳細な情報をご覧いただけます。特に、日食観察用フィルター類の測定結果（日食観
察WG）や、ほぼ毎日更新されている日食関連イベント一覧、学校における日食に向けた
取り組み状況調査（日食調査WG）などは貴重な情報となるはずです。

記事執筆のご参考に、ご活用いただければ幸いです。

※天文教育普及研究会：

天文教育・普及活動に関わる研究者、学校教員、科学館等職員、学生、一般天文愛好家など約
600 人の会員からなる。日本学術会議協力学術研究団体。現会長は嶺重 慎（京都大教授）。